

ブリティッシュスタイルの金管バンド

東京ブラスソサエティ

第48回定期演奏会

TBS創立52年 初の女性指揮者を迎えて

I 部

指揮 山本 真理子

Cond. Yamamoto Mariko

ストライク アップ ザ バンド

Strike Up the Band

ガーシュウィン/G.リチャーズ編曲

Gershwin / arr. G.Richards

ハイケンスのセレナーデ

Serenade

J.ハイケンス/G.マッケンジー編曲

J. Heykens / arr. G. Mackenzie

ウォッチング ザ ウィート

Watching the Wheat

民謡/ヘンリーゲール編曲

Trad / arr. Henry Geehl

テイク ファイブ

Take Five

ポール デズモンド/梶貝道郎編曲

Paul Desmond / arr. Higai Michio

歌劇「サロメ」より 7つのベールの踊り

Salome's Dance of the Seven Veils

R/シュトラウス/小栗克裕編曲

R. Strauss / arr. Oguri Katsuhiko

II 部

指揮 山本武雄

Cond. Yamamoto Takeo

クライ オブ ザ マウンテン

Cry of the Mountain

ハワード ローリマン

Howard Lorrmann

ハイランド・カテドラル

Highland Cathedral

M.コフ&U.レイン/H.ローリマン編曲

M. Korb & U. Reeyen / arr. H. Lorrmann

ニューワールド ファンタジー

New World Fantasy

民謡/G.ラングフォード編曲

Trad / arr. G. Langford

自由への旅

Journey into Freedom

エリック ボール

Eric Ball



Yamamoto Mariko



Yamamoto Takeo



演奏: 東京ブラスソサエティ

2024/6/1【土】14:00開演 (13:30開場)

ティアラこうとう 大ホール

江東公会堂 TEL 03(3635)5500 都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」A4出口徒歩6分

入場料 2,000円(一般)
1,000円(小・中学生)

主催/東京ブラスソサエティ 協力/公益財団法人 江東区文化コミュニティ財団
後援/日本ブラスバンド指導者協会 協賛/株式会社 ヤマハミュージックジャパン
チケット取扱い/ティアラこうとう 03-5624-3333 問い合わせ/山本:TEL&FAX 03-3931-0676

TOKYO BRASS SOCIETY

東京ブラッソサエティ(T.B.S)は1972年に我が国初の本格的なブリティッシュ・スタイルの金管バンドとして創立されました。本年(2024年)創立52周年を迎える事が出来ました。

創立当時は、まだブリティッシュ・スタイルの金管バンドの楽器編成も、演奏法も手さぐりの状態でしたが、レコード等で聞いた英国のバンドの響きのすばらしさに魅せられて、私達も何とかしてあのようなサウンドを出したいという事で、さまざまな努力をしました。

最初は英国のサウンドをまねるところから始めました。英国のバンドは160年以上の歴史があり、このスタイルのバンドが社会に根づいています。英国では子供の頃から、このサウンドを耳にして育っています。私達のように初めてこのスタイルを演奏する者にとっては大変です。英国から指導者を迎えて指導してもらったり、直接英国をおとずれて本場の英国のサウンドを見聴きしているうちに、少しずつですが、前にもましてこのスタイルのバンドのすばらしさが、判ってきました。

英国の金管バンドは、金管楽器の合奏でも、トランペットやフレンチホルン等を使用せずに、コルネットやフリューゲルホーン、アルトホーン、バリトンホーン、ユーフォニアム、E♭バス、B♭バスという、いわゆるサクソルン属の楽器を使用して編成されています。このサクソルン属の楽器というのは、楽器制作者で研究家として有名なベルギーのアドルフ・サクスの考案した一連の楽器群です。

サクスは今のサクソフォーンを発明、開発した人ですが、金管楽器群にも、ソプラノからバスの声部全てで一連の金管楽器群を開発しました。E♭管と、B♭管の二種類で、E♭ソプラノから、B♭バスまでを一つの楽器のファミリーのように7種類の楽器で作り上げました。トランペット等の円筒管部分を多く持った楽器は、明るく輝かしい音色になりますが、このサクソルン属の楽器はトランペット等に比べると円錐管部分を多くもっていますので音が柔らかく、他の楽器とのブレンドがよく出来ます。

英国では、1850年頃からこのサクソルン属の楽器で編成された本場のプラスバンドが盛んになり、1853年から毎年全英のナショナルチャンピオンシップというコンクールを行い現在もつづいています。

この間、英国のバンドのレベルは大変向上し、有名な作曲家や編曲者が数多くのオリジナル作品をはじめ、オーケストラの名曲を編曲しています。

日本においては、東京オリンピック(1964年)の頃、小学校にバンド活動が出来るかを研究し、最初はトランペット鼓隊として、金管楽器の導入を行いました。その後、各地の小学校に於て、実験教室を行い、指導法の研究や、教則本の作成を行い、プラスアンサンプルの型を取り入れながら、金管バンドの普及につとめました。この50年間に小学校において金管バンドが盛んになり、今やその頃金管バンドを経験した子供達が、音楽大学に進み、卒業してから指導者となって、各地で金管バンドが大変多くなってきました。

1998年には、日本吹奏楽学会において、私達、東京ブラッソサエティが、日本吹奏楽アカデミー賞(啓蒙部門)に選ばれました。このアカデミー賞は、年間を通して吹奏楽及び管打楽器の分野に関する特にすぐれた活動に対して表彰されるものです。

プラスバンド(金管バンド)の研究と普及を目的として1972年に創立されて以来、日本において数々の初演を行うと共に、金管バンドという編成を示し、吹奏楽とは異なった編成ですが、音楽のすばらしさ、楽しさを求めてきました。金管楽器と打楽器のみの合奏、本当のプラスバンドで、「どの様な音楽表現が可能か」というのも研究課題です。

今回の第48回定期演奏会では、TBS創立52年目にして、初の女性指揮者を迎えます。山本真理子氏は、専門は打楽器奏者ですが、TBS創立の初期より金管バンドの研究に取り組んでいます。彼女を中心とした女性のみでのジャパン レディース プラスは、本場英国をはじめ、アメリカ、カナダ、マレーシアに於いて、演奏旅行を行い、大変高い評価をうけています。TBSとしては初の指揮ですが、女性として新たな感覚で、サウンド作り、音楽を創ってくれると思います。第二部は、山本武雄の指揮です。

英国のブリティッシュ・サウンドのみならず、新しいサウンドもお聴き出来ると思います。ぜひご家族でおいで下さい。

東京ブラッソサエティ 代表
洗足学園音楽大学名誉教授
日本プラスバンド指導者協会 理事長 山本武雄

指揮者プロフィール



山本 真理子 Mariko Yamamoto

東京芸術大学音楽学部器楽科(打楽器専攻)。在学中安宅賞を受賞。卒業後、東京吹奏楽団に入団、10年間打楽器奏者として務める。1973年より東京ブラッソサエティ(TBS)の打楽器奏者として務め現在に至る。1985年より聖徳大学音楽科にて後進の指導にあたりつつ自ら打楽器アンサンブルユニット「エンジョイ・パーカッション」を結成、子どもから大人まで楽しめるリズムパフォーマンスを各地で繰り広げている。2003年TBSのプリンシパルコルネット奏者班目加奈とともにJapanese Lady's Brass(JLB)を結成。International Women's Brass Conference(IWBC)に参加。2010年カナダ・アメリカにて演奏。他に英国・マレーシア・中国・台湾へも遠征し音楽交流の輪を広げている。(公社)日本吹奏楽指導者協会会長。日本プラスバンド指導者協会副理事長。日本打楽器協会副理事長。



山本 武雄 Takeo Yamamoto

東京芸術大学音楽学部器楽科(トランペット専攻)卒業後、同大学管弦楽研究部のトランペット奏者として務める。1987年～1988年、文部省在外研究員として、英国及びヨーロッパ各国にて「金管合奏法の指導」研究のため渡英。英国ナショナルプラスバンド協会から功労賞を授与され、英国プラスバンド協会会員、指導者資格を与えられる。1972年、我が国初のブリティッシュスタイルの金管バンド「東京ブラッソサエティ」を創立し、プラスバンドの研究と普及、発展に努めている。1998年、日本吹奏楽アカデミー賞を受賞。2019年、英国(ブリティッシュ・バンスマン)より、日本でプラスバンドの文化を発展させた業績により、Herbert-Whiteley賞を受賞。日本管打吹奏楽学会、日本吹奏楽指導者協会、「21世紀の吹奏楽」実行委員会等において吹奏楽の指導、客演指揮、審査員を務める。日本プラスバンド指導者協会理事長。2006年より洗足学園音楽大学教授・ブリティッシュ・プラスアドバイザー、2012年より名誉教授。